

3. JR広島駅周辺地区の現況

1) 地域特性

広島市は、広島県西部、瀬戸内海沿岸の中央からやや西よりに位置し、太田川河口デルタを中心に市街地が形成されています。JR広島駅は、太田川河口デルタの北東部に位置し、地方中枢都市である広島市の陸の玄関口として重要な役割を果たしています。

JR広島駅の周辺地区は、市街地再開発事業の推進などにより、高次都市機能の集積が進んでいます。駅から徒歩圏内には、東区役所、東区民文化センターなどの公共施設や、広島市心身障害者福祉センター、広島市児童療育指導センターなどの社会福祉施設、JR広島鉄道病院などの医療施設、ベスト電器広島本店、エールエールA館などの大型小売店などが集中して立地しています。さらに、駅西側には県立美術館、縮景園などの文化施設が、また、駅南側を中心とした周辺地区全体には宿泊施設やコンベンション施設が数多く点在し、市内のみならず市外・県外からの利用も多く、JR広島駅は、広域交通の拠点施設としての役割も果たしています。

JR広島駅周辺施設分布図



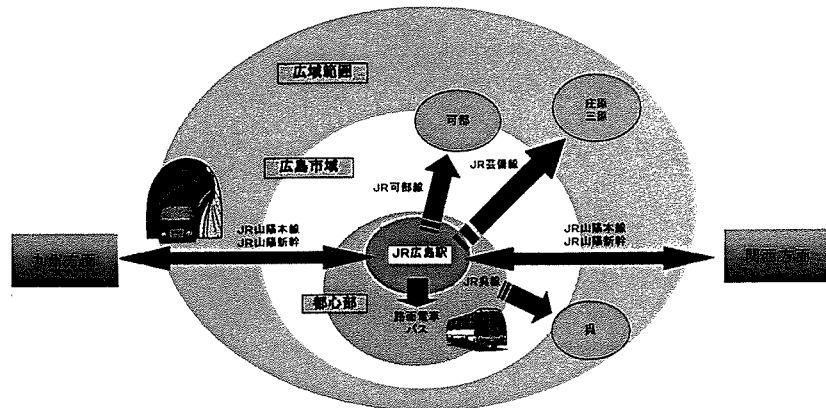
- A 官公庁施設 B 社会福祉施設 C 医療施設 D 教育文化施設、コンベンション施設、スポーツ・レクリエーション施設等 E 宿泊施設 F 商業施設、銀行・郵便局等

②交通結節点としての役割

広島市域の都市交通網は、広域交通を担うJR（鉄道）や第三セクターが運営するアストラムライン、民間企業が運営する路面電車やバスなどで形成されています。

JR広島駅を基軸に、東西方向に貫く山陽本線及び山陽新幹線、南東方向に呉線、北東方向に芸備線及び北西方向に可部線といったJR線が伸びています。また、南口駅前広場は、都心方面への路面電車・市内線バス・郊外線バス、また北口駅前広場は、高速バスなどの主要発着点となっています。

JR広島駅は、市域内のみならず広域都市圏における主要な交通結節点となっています。



③利用状況

JR広島駅は、1日当たりの乗降客数が約14万5千人と、中四国地方最大の利用者数を有する旅客施設です。

また、周辺地区には、広島市心身障害者福祉センター、広島市児童療育指導センターなどの社会福祉施設や、総合病院であるJR広島鉄道病院が存在し、高齢者や身体障害者などの方々が多く利用されています。さらに、東区役所、東区民文化センターなどの公共施設やエールエールA館、ベスト電器広島本店などの大型小売店も隣接しており、バリアフリー化に対するニーズが高い地域です。

また、JR広島駅は、外国人を含む県外からの利用者も多く、広島市の陸の玄関口としてふさわしい、すべての人にやさしい施設として機能強化及びバリアフリー化が望まれています。

④駅施設及び周辺地区のバリアフリー化の現状

駅施設の現状は、昇降設備については、1番ホーム、新幹線ホーム、新幹線口側コンコース内にエスカレーターが設置されています。しかし、車椅子での移動については、駅員の付き添いにより、一般客とは別経路の車いす専用エレベーターを使用しているのが現状です。

また、トイレや案内表示については、身体障害者対応トイレや、視覚障害者誘導用ブロックなどが既に設置されています。しかし、設備の改善や維持管理の充実など、今後さらなるバリアフリー化が望まれています。

駅周辺の状況を見ると、広島駅南口地下広場などは、エレベーター、エスカレーターの整備や身体障害者対応トイレの設置など、比較的バリアフリー化が進んでいるほか、公共施設などへ移動する経路上においても、視覚障害者誘導用ブロックや音響信号機などが設置されていますが、すべての箇所に設置されているわけではなく、改善が必要です。

また、ハード面での問題のほか、歩道上の立て看板や違法駐輪・駐車などのソフト面でのバリアも存在し、円滑な移動の妨げとなっています。